

インフルエンザ及び感染性胃腸炎の流行状況について

1 インフルエンザの流行状況（平成 25 年 1 月 30 日から流行警報を発令中）

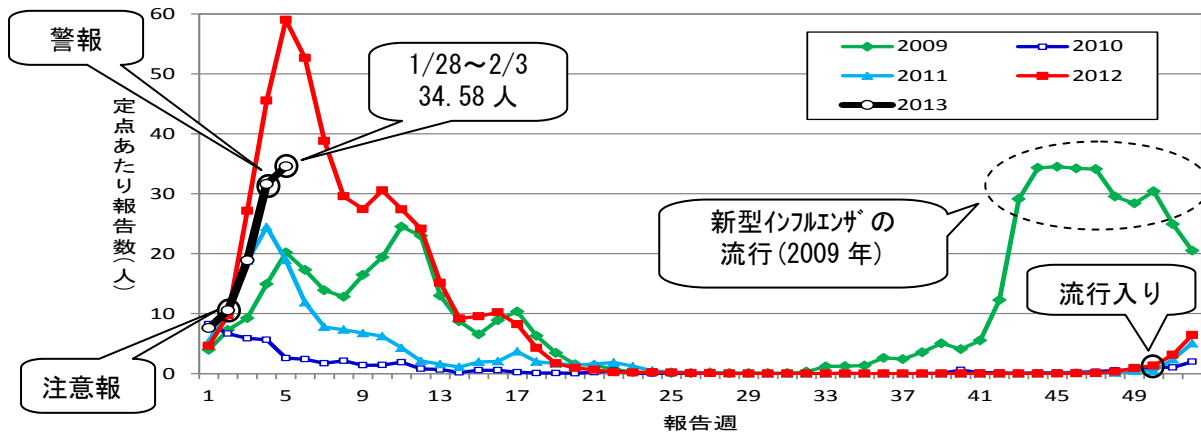
(1) 概要

- 通常、インフルエンザは、年末から徐々に患者数が増え始め、年明け 1 月から 3 月にかけて大きな流行を見せます。
- 今シーズンも、第 2 週（1/7～13）に注意報レベルを、第 4 週（1/21～1/27）に警報レベルを超え、現在、本格的な流行状態となっていると考えられます。
- 流行しているウイルス型は、従来の季節性インフルエンザの A 香港型が主流です。
- 県では、インフルエンザ流行警報を発令し、以下のような対策を呼びかけています。
 - ・ 手洗い・うがい・咳エチケットの励行
 - ・ 体調の管理（十分な栄養や睡眠など）
 - ・ かかってしまった場合の早めの医療機関への受診

(2) 患者数の推移（定点あたり報告数：64 医療機関からの報告、単位：人）

区分	第50週	第51週	第52週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
	(12/10～16)	(12/17～23)	(12/24～30)	(12/31～1/6)	(1/7～13)	(1/14～20)	(1/21～27)	(1/28～2/3)
岩手県	1.34	3.14	6.42	7.61	10.55	18.88	31.63	34.58
全国	1.17	2.23	3.35	3.91	12.07	22.58	36.44	35.82
備考	流行入り				注意報		警報	

インフルエンザ、岩手県



※ この定点報告は、県内 64 の医療機関から、毎週インフルエンザ様疾患の患者数の報告を受けているもので、1.0 を上回ると流行入り、10.0 以上で注意報レベル、30.0 以上で警報レベルにあると判断しています。

(3) 学校等の閉鎖措置の状況（平成 24 年 9 月～平成 25 年 2 月 12 日現在）

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
施設数	5	22	92	53	23	6	201

（前年同時期 335 件）

2 感染性胃腸炎の流行状況（ノロウイルス等）

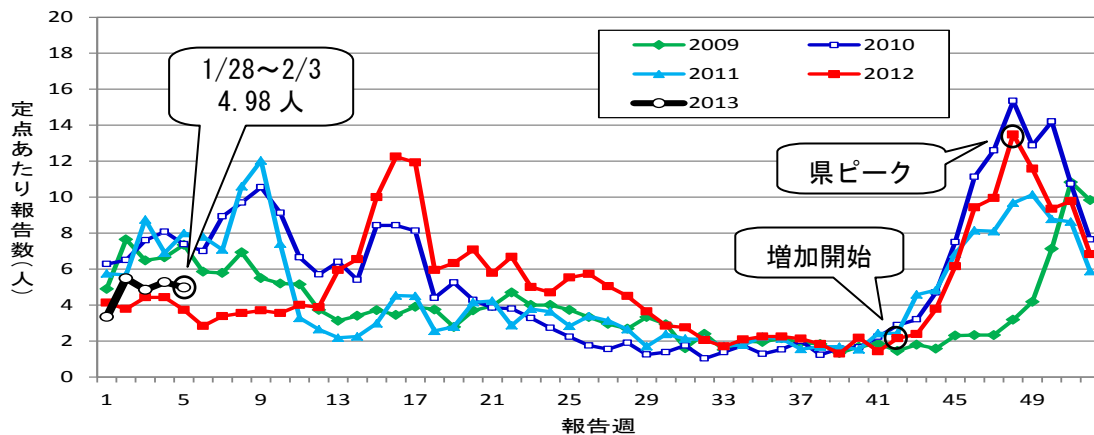
(1) 概要

- 通常、感染性胃腸炎は、10月中旬頃から徐々に患者数が増え始め、12月中旬から下旬にかけてピークを迎えます。
- 今シーズンも、第48週（11/26～12/2）に既にピークを迎えており、現在は落ち着いている状況です。
- 全国的には、ノロウイルスの変異株の検出が報告されるなど、大きな流行が報告された地域もありますが、県内は概ね例年並みの流行です。
- **社会福祉施設等における集団感染事例**は、1月に入ってから報告されていることや、今後、ノロウイルスに代わりロタウイルスの流行期となることから、県では以下のような対策を呼びかけています。
 - ・石けんを用いた十分な手洗
 - ・おう吐物等の適切な処理と消毒
 - ・食事の調理時の十分な加熱
 - ・おう吐、下痢等の症状がある場合の、早めの医療機関の受診

(2) 患者数の推移（定点あたり報告数：40 医療機関からの報告、単位：人）

区分	第42週	第47週	第48週	第49週	第3週	第4週	第5週
	(10/15～21)	(11/19～25)	(11/26～12/2)	(12/3～9)	(1/14～20)	(1/21～27)	(1/28～2/3)
岩手県	2.15	9.95	13.48	11.58	4.85	5.28	4.98
全国	3.74	13.02	18.00	19.62	7.04	7.85	7.77
備考	増加開始		県ピーク	国ピーク			

感染性胃腸炎、岩手県



(3) 社会福祉施設等における集団感染の報告（平成24年9月～平成25年2月12日現在）

	保育所	高齢者関係施設	障がい者関係施設	合計
施設数	23	9	5	37

（前年同時期 31 件）